小学校 第２学年○組　学級活動（２）指導案

平成○年○月○日（○）第○校時　○○教室　指導者(T1)担任（T2）栄養教諭・学校栄養職員

１　題材名　朝から元気になれる「朝ごはんパワー」

　　　　　　学級活動（２）エ　食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

２　児童の実態と題材について

（１）児童の実態

岡山県学校栄養士会調査による｢平成２８年度児童生徒の食生活・日常生活習慣等の調査報告書」から，小学５年生の朝食を毎日食べる人は８４．９％であった。朝食の食事内容をみると，「軽食型」が４６．０％で半数近くを占め，次いで「主食中心型」が３５．６％,そして栄養バランスのよい「定食型」は１５．７％だった。

本校の事前アンケート結果では，児童のほとんどが朝食を食べていた。しかしその内容を見ると，半数近くの児童が，｢おにぎりとお茶｣｢パンと牛乳｣など主食と飲み物だけという実態であった。

（２）題材設定の理由

本題材では，朝ごはんを食べるとどんなよいことがあるかを考えていくことで，朝ごはんの大切さを理解させ，いろいろな食品を好き嫌いなく食べようとすることをねらいとしている。児童は，朝ごはんを食べることが大切だと理解しているが，元気になるための朝ごはんの内容まで理解している者は少ない。

そこで，朝ごはんに使われている食品に関心を持たせ，いろいろな食品を組み合わせて食べるようになってほしいと考え，本題材を設定した。

３　食育の視点

・朝ごはんに使われているいろいろな食品に興味をもつ。（食品を選択する能力）

　 ・朝ごはんの大切さを理解する。（食事の重要性）

４　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
| ・自分の生活に関心をもち，健康な体をつくるための生活や学習に取り組もうとしている。 | ・朝ごはんの内容について考え，いろいろな食品を組み合わせ，食べようとしている。 | ・朝ごはんの大切さについて理解している。 |

５　事前の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 児童の活動 | 教師の指導・支援 | 学習評価 |
| 〇月〇日(〇) | ・その日に食べた朝ごはんの内容を書くアンケートを行う。 | ・書き方がわからない児童に説明する。（栄養教諭・学校栄養職員）・食べていない児童は他の日の朝食を書くよう伝える。 | ・自分の生活について，課題意識をもち，朝ごはんに対して関心を高めている。【関心・意欲・態度】 |

６　本時のねらい

　　　朝ごはんの大切さを理解し，いろいろな食品を組み合わせて食べることができるようにする。

７　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 教師の指導・支援 | 学習評価・準備物等 |
| Ｔ１ | Ｔ２ |
| 導入 | １ 日頃食べている朝ごはんについて振り返る。めあて　「朝ごはんパワー」で元気になろう。 | ○事前のアンケート結果を発表し，朝ごはんについての実態を知らせる。 |  | ・事前アンケート結果・食品カード |
| 展開まとめ　３つのなかまがそろった朝ごはんを食べると、朝から元気になれる。 | ２ 朝ごはんを食べると元気になることを知る。３ 朝から元気がでる朝ごはんを考える。 | ○朝ごはんを食べないとどうなるのか考えさせる。・元気がでない・勉強ができない・おこりっぽくなる○太郎君の“ごはん”だけの朝ごはんを示し，何を足すと元気になるか考えさせる。○ワークシートに自分の考えた食品を書き込むように伝える。○班で，太郎君が朝から元気になる朝ごはんを話し合わせる。○教材提示装置を使用して，班で考えた朝ごはんを発表させる。 | ●朝ごはんの大切さを黄赤緑の食品や３つの働きを用いてわかりやすく説明する。「あたま｣黄（ごはん・パン・めん）…頭がすっきりする「からだ」赤（肉・魚・卵・豆腐）…体がよく動く「おなか」緑（野菜）…おなかがすっきりする●給食の献立の写真を参考にしながら，いろいろな食品が使われていることに気づかせる。●朝ごはんにどのようなものを食べればよいか考えることができるようにする。●３つのなかまがそろっているか確認する。●発表した朝ごはんについて，アドバイスしたり，賞賛したりして深めさせる。 | ・食品カード・料理カード・ワークシート・給食の写真・朝ごはんの大切さを理解している。【知識・理解】 |
| 終末 | ４ 元気になれる朝ごはんにするために，明日からがんばることを決める。５ 本時のまとめをする。 | ○自分の朝ごはんを振り返り，元気になれる朝ごはんにするために，自分ががんばることを考えさせる。○がんばりカードに１週間記入することを伝える。○自分ががんばることを発表することで，本時のまとめをする。 | ●自分ががんばることが書きにくい児童に助言する。 | ・がんばりカード・元気になれる朝ごはんを食べるための取り組みを，進んで考えることができる。【思考・判断・実践】 |

８　事後の活動

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 児童の活動 | 教師の指導・支援 | 学習評価 |
| 〇月〇日(〇) | ・がんばりカードを１週間続け，振り返りをする。 | ・事後に振り返る機会を設定し，実践化に向けて継続した取組になるように助言する。・家の人や先生からがんばりを認めるメッセージをもらい，継続できるように配慮する。 | ・自分なりに工夫したり，家族に協力してもらったりして，実践している。【思考・判断・実践】 |